

令和 4 年 3 月 7 日

消化器内科に通院中の患者さんへ(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

研究課題名 維持透析症例を対象とした非静脈瘤性上部消化管出血の内視鏡治療後再出血の危険因子についての検討

研究機関 市立札幌病院（消化器内科）

研究代表者 消化器内科／松村 まり子

研究の目的

透析患者数は年々増加傾向ですが、生命予後は非透析患者さんと比べ、短いのが現状です。上部消化管出血は、透析患者さんにおいて頻度の高い合併症であり、上部消化管出血の治療は重要な課題です。今回の研究では、当院において上部消化管出血の治療を行った透析患者さんで、再出血リスクの高い患者さんを明らかにすること目的としています。

研究の方法

1 対象となる患者さん

維持血液透析中の患者さんで、2017年1月から2022年12月の間に、当院で消化管出血もしくはその疑いのために緊急上部消化管内視鏡検査で止血術を受けた方

2 利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、病歴に関する情報、検査結果（血液検査、内視鏡検査、画像検査）

個人情報の取り扱い

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。利用する情報か

らは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や
学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

※上記の研究に診療情報を利用することをご了解いただけない場合は、ご連絡ください。

【お問い合わせ先】 北海道札幌市中央区北 11 条西 13 丁目
市立札幌病院消化器内科